

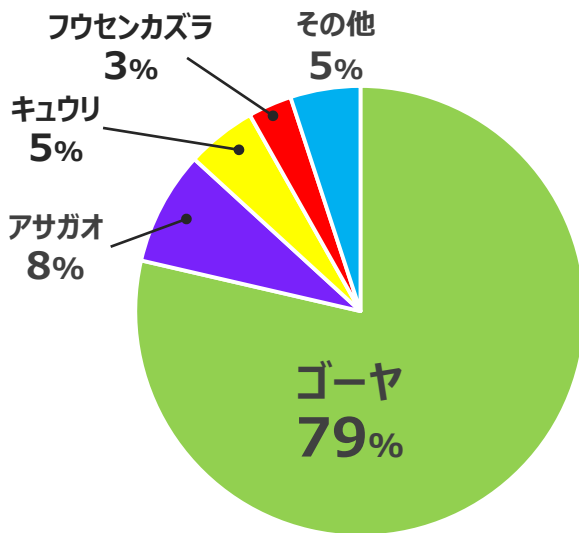
平成 30 年度

みんなで育てた緑のカーテン



緑のカーテンを育てられた方に育成アンケートの提出をお願いしたところ、195名の報告がありました。その内容をご紹介します。

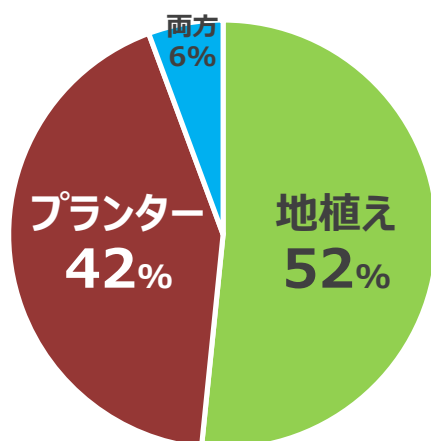
1. どんな植物を緑のカーテンに利用しましたか？



「ゴーヤ」が一番多く利用されてきました。一口に「ゴーヤ」と言っても長レイシに太レイシ、白ゴーヤにアップルゴーヤ等いろいろあります。

ゴーヤは葉の繁りもよく、害虫にも比較的強いため、緑のカーテンとして人気の植物です。

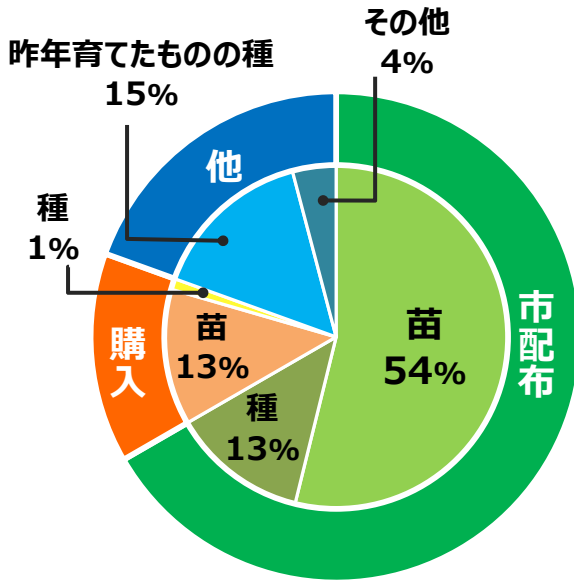
2. どこに植えましたか？



昨年に引き続き、地植えとプランターでおおよそ半々でした。どうしてもプランターでの育成は難しくなりますが、皆さん工夫されたように見劣りしない作品が多数寄せられました。

プランターでの育成については「5. 緑のカーテンを作る上での工夫は？」でお知らせします。

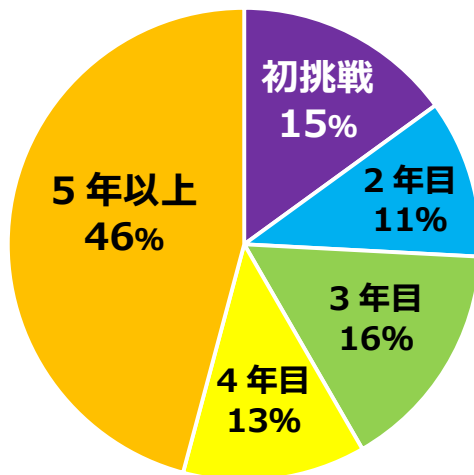
3. 苗や種の準備はどうしたの？



育成アンケートを提出して下さった方の多くが、市で配布した苗・種を利用されていました。また、購入される場合も苗の方が人気です。

育てた植物の種を大切に保存して翌年利用している方や、知り合いが育てた種を分けてもらった、という声もありました。つながりが増えると良いですね。

4. 緑のカーテンの取り組み経験はどのくらい？



※数値処理の関係上、合計が100%になりません。

今年度より新たに「新人賞」を設けました。そのため今年緑のカーテンに挑戦しようという方が増えると思っていましたが…市からの案内が足りていなかったのかもしれない。

2年目、3年目という方はモデル地区*の方に多く見受けられました。5年以上取り組んでいる方も半数近くになり、緑のカーテン普及活動も根付いてきたといえるのではないのでしょうか。

*「モデル地区」

町会単位で温暖化対策全般に取り組んでいただく活動で、今年は7つの地区が参加されました。

5. 緑のカーテンを作る上での工夫は？

比較的育てやすいと言われているゴーヤでも、やはり「苗を植えただけ」では「涼しい緑のカーテン」にすることは難しいですね。

今年育成アンケートに「ゴーヤ」の栽培ポイントを書いてくださった方がいますので、ここで紹介します。



『最初にやる作業は土を柔らかくする作業です。穴を掘り腐葉土と肥料を入れ、そこに苗を植えます。あとは追肥に液体肥料を1週間に一度くらいの割合でやりました。』とのことでした。

苗を移植する前の土づくりから準備は必要そうですね。他にも、『昨年思うように育たなかったもので、今年は土質が良くなるように苗を植える半月前から土づくりをして準備した。今年は花もたくさん咲き実も大きく育ち、ゴーヤの収穫も楽しめた』。また、あまり大きくならなかった方からは、『来年は土や肥料のやり方を考えたい』という報告もありました。

さらに詳しく育成アンケートに記載された方からは、『有機石灰でアルカリ性の土に調整し肥料不足とならないよう追肥を施した』という報告もありました。

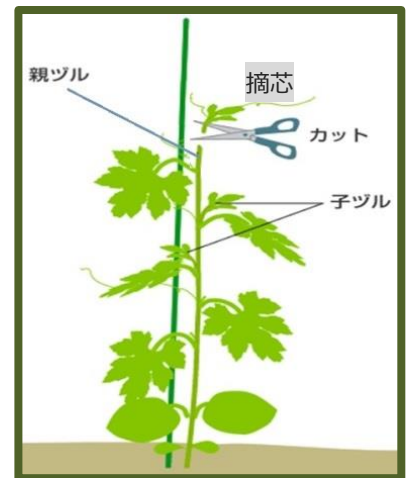
土づくりの重要性を報告した例は他にも多数ありました。来年緑のカーテンに挑戦しようと考えている方は是非参考にしてくださいね。

また、プランターで育成している方から『ゴーヤを大きくするにはプラ

ンターでは無理?』、『栽培方法のコツなど、どうしてよいかわからない』という意見がありました。

ゴーヤは「水飲み植物」と言われています。そのため根の張りが強く『根が多く長くなるようで、深い土が必要と感じた』と答えた方もおられました。『底の深いものを使用すると、根の張りが良く地植えとかわらなく育ちます』という経験者の声もあります。プランターで栽培するときは、野菜用などの深さのあるものを選びましょう。もちろん、プランターでも土づくりは必要ですよ。

また、「摘芯」も緑のカーテンを育成するうえで重要です。『ツルを切ったら成長が止まってしまうのではないかと内心冷や冷やししながら（中略）摘芯すると、後から子ヅルが出てきて見事な緑のカーテンとなった』、との声もありました。初めて摘芯するのはちょっと勇気が必要ですが、摘芯したところからツルが出ますので、ためらわずに行いましょう。あまり摘芯が行われなかったためツルが横に広がらず、上にまっすぐ4 m伸びた写真も頂きました。『来年度は摘芯を心がけたい』そうです。頑張ってくださいね。



さて、最後は気象の問題です。

昨今「異常気象」という言葉をニュースで耳にします。梅雨も早くに明け、せっかくの雨水タンクも『雨が少なく（中略）雨水タンクに水が溜まらず苦労』された方もあり、『朝夕の水やりは例年より多くした』ことで、緑のカーテンを育てたそうです。また、今年は強風の日が多かったですね。苗を移植してようやくネットに絡まったころ、『風にあおられると激しく揺れてしまい、根っこが抜けそうになった』、『吹き付ける強風でも持ち耐えられるよう工夫』したりとみなさん苦労されたようでした。ネットは倒れないようにしっかりと固定してくださいね。

6. どれくらいの大きさの緑のカーテンができたの？

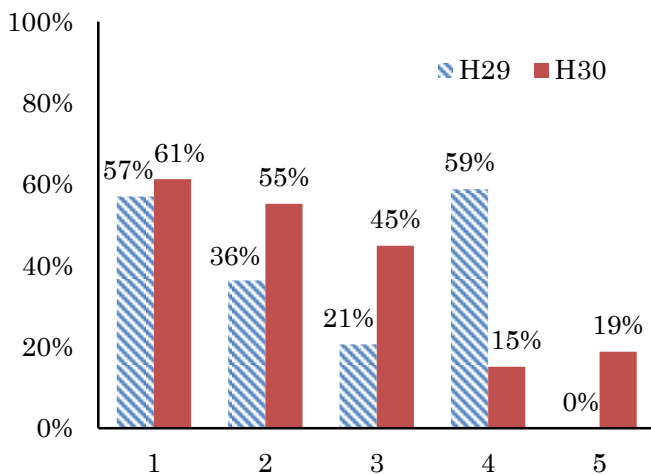
部門	平均			最大		
	幅(m)	高さ(m)	面積(m ²)	幅(m)	高さ(m)	面積(m ²)
個人	2.5	3.2	11.0	16	8	240
事業所・公共施設	3.8	4.1	25.0	20	20	200

個人の部、事業所・公共施設の部それぞれのカーテンの大きさは上表のとおりでした。複数個所に育てた方や、1枚で広いカーテンに育てた方もいました。

カーテンはそれぞれ必要性や設置の条件に応じた大きさのようでした。みなさまの緑のカーテンは役立ちましたか？



7. 緑のカーテンの効果



1. 「緑のカーテン」により、涼しくなった。または涼しく感じた。
2. 緑や花、葉の揺れる音、木漏れ日などに心が癒された。
3. 家族や近所の方とのコミュニケーションが増えた。
4. 冷房温度の設定を変更した。または冷房使用時間が減った。
5. 「緑のカーテン」以外の省エネ活動に関心を持つようになった。または実践した。

複数回答可でのアンケートでは「涼しい」または「涼しく感じた」と感じた方が最も多く、日光遮断の効果が見られました。視覚・聴覚・人によっては嗅覚でも緑のカーテンで癒されたようです。



《その他の意見》

- 自分自身が元気になった。
- 花が咲いて、実をつけて、収穫するまで、とても楽しい。
- 普段、植物と関わる機会が少ないので、苗や種から立派に成長させることができ、達成感を得られた。
- 目隠しになった。
- 緑のカーテンを調べたり、水やりを熱心に取り組む児童がいて、環境学習に役立った。



8. 今年の感想から

<苦勞した点・課題>

棚網設置について

- 雨や風が強い日があり、棚を設置するのが大変だった。
- つるを上手く支柱に絡ませるのに気を使った。
- 網を張るのが毎年苦勞して大変。

水やり・肥料について

- 今年は暑い日が多く水やりが大変だった。
- 鉢植えでやっており、水やりは大変。
- 米のとぎ汁を捨てずに利用した。



害虫に

- ダンゴムシに葉を食われて弱ってしまった。

育成が

- 種からの発芽がうまくいかなかったので、来年はうまくできるようにしたい。
- 天候のせい、序盤は伸びが悪かった。
- 暑い日が多く何本か苗がダメになった。
- 肥料不足のせい、実が大きくなる前に赤くなってしまった。
- 苗の生育は早かったが、実の付き方が悪かった。

その他

- 台風や猛暑など、天候に大きく左右させられた。

<よかった点>

カーテンについて

- 部屋からの眺めが気持ちよく、居心地のいい空間となった。
- 摘芯をこまめに行ったので、隙間なく均一にできた。

節電・環境について

- 記録的暑さが長く続いた今年の夏、緑のカーテンにはとても助かった。
- 緑のカーテンのおかげで、冷房をつける時間が少なくなった。
- カーテンのある部屋とない部屋の温度差は歴然。

コミュニケーション

- 今年は初めて白ゴーヤを植えて、友達に配ったところ、「苦みがあまりなくてよかった」と言われた。
- 来館される親子が毎年楽しみにしている。
- 近所の人や通りがかりの人から、「今年も立派に育ちましたね」と声をかけられるのが嬉しかった。
- 子どもだけでなく、色々な方々から「涼しげだね」「ゴーヤの実ができている」など、声をかけてもらった。



その他

- 摘芯に自信がなかったが、結果的にたくさん実がなった。
- 黄色くなったゴーヤはジュースにして飲むと無駄なく手軽に楽しめた。
- ゴーヤを食べて健康になり、暑さを乗り越えられた。
- 天ぷら、野菜炒め、佃煮、漬物と色々な料理で楽しんだ。
- 自分で育てた作物は、大変たのしく、おいしく食べられる。
- すくすくと成長し日陰がたくさんできた。植物に触れることも多くなり、学習にも役立った。
- 子どもの遊び用のトンネルにゴーヤを這わせて素敵な緑のトンネルができた。
- ゴーヤチャンプルーや酢の物、佃煮などおいしく食べている。



9. 今年のカーテンの出来栄は？

「猛暑」「異常気象」「短い梅雨」「強風」。

今回頂いた育成アンケートには、この言葉が多数出てきました。今振り返ってみても本当に暑い夏でした。緑のカーテンを育成された皆様は非常に大変な思いをされたことでしょう。そのためなかなか成長せず、『思った通りのカーテンには育ちませんでした』という報告も多数あります。また初めてゴーヤを育てて『赤いゴーヤはビックリ』という体験をされた方も。それでも『もう一度“挑戦”しようと思っています』という方や、『緑のカーテンをすることで、温暖化対策についての意識も変わりました』という感想に主催者としてうれしく思いました。みなさん、応援します！

さて、緑のカーテンとして育成できた方からは、『蝶々が良く飛んでいる。楽しいです』という意見や『部屋から外を見ると風情があり、涼しさも増しました』という声もありました。部屋の中から逆光で見る緑のカーテンは、取り組んだ方だけが味わえる癒しの光景ですね。

また、『緑のカーテンは、目にも優しく、食べても



おいしいので、近所の人にも分けてあげることが出来る』という方や、モデル地区として参加された方から『隣近所の人と緑のカーテンのことでおしゃべりして分けてやって、出先まで持っていき喜ばれた』という声がある。緑のカーテンを通して温暖化対策になり、コミュニケーションも活発になって地域が盛り上がるとうれしいですね。緑のカーテン事業を『市全体の庭先が緑で被われる様、継続してください』という意見も頂きました。この活動をみんなで盛り上げていきましょう。

さて、緑のカーテンを育成するときに工夫されたことで多かったのは、風の通り道を作ったり、棚状に育てた軒下の日陰で寛いだり、実の収穫がしやすいようにしたことなどです。『窓辺から2m程度離れたことで室内の明るさも保てるし、カーテンとして充分効果があり、果実も花も室内から眺められ癒されている』そうです。ゴーヤの棚下でお茶をすすめるのも風情がありますね。『緑のカーテンで囲まれた空間はまるでオアシス』、『暑さ対策は冷房をつけるだけでなく、いかに涼しく過ごすかが重要です』という声もありました。みなさん、



どう思いますか。

また、単体の植物だけでなく他の植物と組み合わせて楽しんだ方もいらっしゃいました。多いのがゴーヤと朝顔を組み合わせたカーテン。『朝顔を一緒に植えたらきれいだったので、来年は多くの朝顔を植えたい』との声があります。緑がきれいな分、花の色が鮮やかに見えますね。



そして、お気に入りのカーテンですが敷地の関係で『写真がうまく取れません』と言う方もいました。全体を見ることができないのはとても残念ですが、皆様が緑のカーテンを楽しんで育てて、見て癒されて、涼しく利用して、エコに役立てて頂ければ最高です。



また来年も緑のカーテンを育てて、夏を涼しく乗り切りましょう！



**来年もみなさまの声を
お待ちしております！
たくさん聞かせてくださいね。**